



一般社団法人 電波産業会
Association of Radio
Industries and Businesses

No.1396 2024年3月25日

ARIBの動き

第5世代モバイル推進フォーラム「2023年度臨時総会」を開催

第5世代モバイル推進フォーラム（5GMF）の2023年度臨時総会が、3月13日（水）に明治記念館（港区元赤坂）においてオンライン併用にて開催されました。

総会の議事において、2024年3月末をもって5GMFの活動を終了し、同じく3月末に活動を終了するBeyond 5G推進コンソーシアム（B5GPC）と統合して新フォーラム「XGモバイル推進フォーラム」（英語名称：XG Mobile Promotion Forum、略称：XGMF）を2024年4月1日に設立すること並びに新フォーラムの設立総会までの間、統合準備のため5GMF及びB5GPCの両事務局で構成される準備室を設置することが承認されました。

1. 顧問会議

総会に先立ち顧問会議が開催され、5GMF会長の吉田進氏（京都大学名誉教授）からの開会挨拶に続き、各委員会からの2023年度の活動報告の発表がありました。その後、5GMF事務局長の大村好則氏から5GMF設立からこれまでの主な活動報告と、5GMFが3月に活動を終了し、4月以降は新フォーラムを設立することについて説明がありました。続いて総務省総合通信基盤局電波部移動通信課長の小川裕之氏より5G/Beyond 5Gの総務省の取組についての説明がありました。最後に、新フォーラムへの統合手順や対外対応方法など、熱心な質疑応答がありました。



顧問会議の様相

2. 2023 年度臨時総会

総務省をはじめ、通信事業者、通信機器メーカー、大学等研究機関などから Web 参加を合わせて 151 名の参加がありました。冒頭、今年 1 月に発生した能登半島地震により被災された方々及び昨年 10 月にご逝去されました 5GMF 設立発起人代表の東京大学名誉教授の羽鳥光俊様に、心からの哀悼の意を表し、黙祷を捧げました。その後、吉田進氏の開会挨拶に続き、来賓の総務省総合通信基盤局電波部長の荻原直彦氏からご挨拶をいただきました。

議事において、第 1 号議案として 2023 年度の事業報告、第 2 号議案として新フォーラムの設立及び準備室の設立、第 3 号議案として 2023 年度の収支決算書について審議が行われ、全て提案どおり議決されました。

なお、新フォーラムへの会員移行にあたっては、全ての会員に対し、一旦準会員(会費無料)としての登録をご案内し、新フォーラムの設立総会後に正会員(会費有料)としての活動を希望する会員には、正会員としての登録をしていただく手順となります。

総会終了後、懇親会を開催し 116 名の参加がありました。来賓の総務省総合通信基盤局長の今川拓郎氏からご挨拶をいただきました。これまでの 5GMF 活動を振り返るとともに新たなフォーラムへの期待を交えた歓談をとおして会員間の親睦を図ることができました。



総会の模様



5GMF 吉田氏



総務省 今川氏



総務省 荻原氏



総務省 小川氏

ARIB 内会合（3月25日～3月29日）予定

3月27日（水）：第328回技術委員会（放送分野）	Web会議併用
3月28日（木）：デジタル放送システム開発部会 多重化作業班	Web会議併用
3月29日（金）：デジタル放送システム開発部会 映像符号化方式作業班	Web会議併用
3月29日（金）：スタジオ設備開発部会 音声品質評価法作業班	Web会議
3月29日（金）：スタジオ設備開発部会 スタジオ映像作業班	Web会議併用

国際会合（3月25日～3月29日）予定

予定している会合はありません。

総務省などからのお知らせ

「有効利用評価方針」の改定案に対する意見募集

【令和6年3月15日発表】

電波監理審議会（会長：笹瀬 巖 慶應義塾大学名誉教授）は、電波法（昭和25年法律第131号）第26条の3の規定に基づき、次年度に実施予定の令和6年度携帯電話及び全国BWAに係る有効利用評価に際して必要な事項について検討を行い、「有効利用評価方針」（令和5年7月改定）の改定案を作成しましたので、令和6年3月16日（土）から同年4月19日（金）までの間、意見の募集を行っています。

詳細については、[【令和6年3月15日の総務省報道資料】](#)をご覧ください。

令和6年度から実施する生体電磁環境研究及び電波の安全性に関する 評価技術研究に係る提案の公募

【令和6年3月19日発表】

総務省では、令和6年度から実施する生体電磁環境研究及び電波の安全性に関する評価技術研究について、令和6年3月19日（火）から同年4月22日（月）までの間、提案を公募しています。

「公募を行う研究課題」

- (1) 刺激作用に基づく許容電磁界強度導出に関する研究
- (2) 電波ばく露に関する標準的な研究手法の確立及び中間周波電磁界の神経毒性に関する研究
- (3) 青少年への電波の影響に関する疫学研究
- (4) 電波ばく露レベルモニタリングデータの取得・蓄積・活用

詳細については [【令和6年3月19日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。

**令和6年度から新たに実施する電波資源拡大のための研究開発の
基本計画書（案）に関する意見募集の結果及び提案の公募**

【令和6年3月21日発表】

総務省は、令和6年度から新たに実施する電波資源拡大のための研究開発の提案の公募に先立ち、令和6年2月10日（土）から同年3月11日（月）まで基本計画書（案）に関する意見を募集しました。

その結果、基本計画書（案）に対して、3件の意見提出がありましたので、提出された意見及びそれに対する総務省の考え方並びに基本計画書を公表します。

また、基本計画書に基づき、令和6年3月22日（金）から同年4月22日（月）まで研究開発に関する提案を公募しています。

「本委託研究の概要」

本委託研究は、総務省が電波の有効利用に資する研究開発課題の計画を示した上で具体的な実施方法を公募・採択し、民間企業等の研究機関に研究開発の実施を委託するものです。

- (1) 総務省が示す研究開発課題に対して受託を希望する研究機関は、所定の提案書を総務省に提出します。
- (2) 提出された提案書については、外部評価を行いその結果を受けて総務省が委託先となる研究機関を選定します。
- (3) 選定された研究機関は、総務省との間で委託契約を締結し、研究開発を実施します。

詳細については [【令和6年3月21日の総務省報道資料】](#) をご覧ください。



Association of Radio Industries and Businesses

ARIB NEWS
発行所

一般社団法人 電波産業会

☎100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番1号 日土地ビル11階
TEL 03-5510-8590 FAX 03-3592-1103
<https://www.arib.or.jp> E-mail arib_news@arib.or.jp